

がんめんしんけいまひ 顔面神経麻痺

原因

- ・顔面筋を動かす顔面神経の片一方が麻痺することで発症します。
- ・単純ヘルペスウイルスの再帰感染(ぶり返し)、循環不全、ストレスなどが原因のベル麻痺と、帯状疱疹ウイルスの再帰感染が原因で痛みと水泡を伴うラムゼイ・ハント症候群の2つが多い。
- ・糖尿病、膠原病、サルコイドーシスなども原因になります。

症状

- ・目が閉じれずに洗顔の時に目がしみます。結膜炎や兔眼になることもあります。
- ・口が閉じれずに飲み物が口からこぼれたり、口笛が吹けなくなったりします。
- ・聴覚過敏(耳のアブミ骨筋の麻痺により音が大きく感じる)がおこることがあります。
- ・味覚障害(麻痺側の舌の前2/3の味覚が低下する)がおこることがあります。
- ・涙の分泌が増えることがあります(ワニの涙)。
- ・耳の後ろが痛くなることもあります。
- ・ラムゼイ・ハント症候群では耳の痛みがあり、耳たぶや外耳道に水疱(みずぶくれ)ができます。

似たような症状をおこす病気

- ・頭部 MRI 検査で脳腫瘍や脳梗塞の有無を確認します。

治療法

1. ステロイド剤; 顔面神経の腫れとむくみを軽減するためにプレドニン®を2週間程度処方します。血糖や血圧の上昇、胃潰瘍、抵抗力低下、不眠、興奮などの副作用に注意します。
2. 抗ウイルス薬; ベル麻痺でも単純ヘルペスウイルス1型が発症に関与している例が多いのでウイルスの薬(バルトレックス®)を処方します(腎障害がある方は中毒をおこすことがあります)。
3. リハビリテーション; リハビリのためにご自分で鏡の前で1日何回か百面相をしてみましょう。通院リハビリテーションで低周波治療を行う施設もあります。
4. その他の治療法; 神経回復を助けるビタミン B₁₂(メコバラミン)や結膜炎の目薬も処方します。星状神経節ブロックという注射や顔面神経管開放術という手術をすることもあります。

さいごにひとこと

- ・ベル麻痺もラムゼイ・ハント症候群も軽度であれば1~2か月で治ります。全く動かない場合でもベル麻痺の80~90%、ラムゼイ・ハント症候群の50~60%は完治するそうです。
- ・顔面の違和感、まぶたと口と一緒に動く、痙攣(けいれん)する、聞こえづらくなるなどの後遺症を残すこともあります。

みやさきクリニック 宮崎秀健



(図は第52回(H29)理学療法士国家試験問題から転載)